

様式第6号 (第5条関係)

政務活動費実績報告書

令和6年3月25日

久慈市議会議長 濱 欠 明 宏 様

会派名 政風会

代表者名 小柳 正 人



政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和6年1月22日～1月25日				
実施場所	長崎県五島市				
参加者名	小柳正人、小倉利之、清水崇文、畑中勇吉、佐々木栄幸、大沢俊光				
実績額	717,164円 (うち政務活動費請求額 404,884円)				
内 容	別紙のとおり。				

令和5年度

久慈市議会政風会行政視察

【長崎県五島市】

報告書

行程日：令和6年1月22日～1月25日

参加議員：小柳正人、小倉利之、清水崇文、

佐々木栄幸、大沢俊光、畑中勇吉

会派視察報告書

会 派：政風会【6名】

視察議員：小柳正人、小倉利之、清水崇文、佐々木栄幸、大沢俊光、畑中勇吉

日 程：令和6年1月22日（月）～25日（木）

交通手段：三河交通ジャンボタクシー～JAL～エアポートライナー～フェリー～
海上タクシー～貸し切り小型バス～タクシー 他

実施経費 679,234（6人分）

内 訳

月日	金額（円）	内 容	備 考
1/22	3,780	博物館入館料	630×6人
1/23	52,040	五島市コンネホテル	8,674×6人
1/24	30,720	フェリー	5,120×6人
1/25	7,200	長崎バス	1,200×6人
1/31	114,040	五島市観光協会	海上タクシー、ガイド料 等
2/19	534,474	三河交通観光	航空券、ホテル、フェリー、バス代 等

1. はじめに

久慈市議会政風会は、現在久慈市で目指すゼロカーボンニュートラル達成に向け洋上風力発電に取り組んでいることから、国内で唯一浮体式洋上風力発電実証事業がスタートした五島市を視察しました。

現在、当市は「一定の準備段階に進んでいる区域」として全国8箇所の中の1箇所に区域指定されています。今後、有望区域～促進区域に向けて解決しなければならない諸課題や、事業化に伴う波及効果・リスク等について視察しました。

令和6年1月22日いよいよ視察スタート。前日の沿岸部での低温注意報を受け三陸沿岸道路経由を変更し、東北自動車道経由で花巻空港に向かいました。23日以降、九州・山陰地方の天候状況が心配されましたが、往路交通には問題なく長崎市に無事到着しました。

ホテル到着後、最初の視察先は「長崎歴史文化博物館」です。当日は入館者800万人達成イベントが開催されたということで大きな「祝垂れ幕」も私達を歓迎してくれました。

2日目は、日本国内で結一浮体式洋上風力発電の実証実験をしている福江島の五島市でしたが、高波によるジェットフェリーは欠航し、フェリーに乗り換え五島市に渡

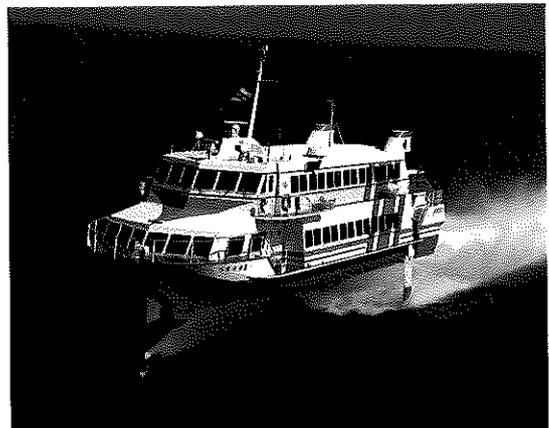


図1 乗るはずだったジェットフェリー

航しました。スケジュール変更を余儀なくされましたが、3時間遅れの11時40分福江島に上陸しました。観光協会の近藤様と戸田建設様の出迎えと概要説明を受けた後、海上タクシーに乗り荒波、吹雪の中、崎山海域の実機を直接見学させて頂きました。

その後、五島市役所において座学を行いゼロカーボンニュートラルの取り組み、メンテナンス会社のE W I N D社の取り組みについて講話を頂きました。予定していた公益財団法人自然エネルギー財団木村博士や戸田建設の皆様の講話は、時間が押したことで拝聴できず大変残念でした。

その後、高波と雪降の荒天でフェリーも欠航、頼みの五島つばき空港（福岡行）も悪天候により空港閉鎖となり、急遽五島市に宿泊しました。地元ではよくあることのように。

翌24日は移動日でした。午前11時50分福江港発のフェリーで長崎に戻り、1日多く長崎滞在となりましたが、25日には無事に帰省することが出来ました。

しかし、帰路の伊丹空港から花巻空港便も、花巻上空が荒天のため伊丹空港へ戻ることも想定のチケットを購入。相当揺れはしましたが何とか花巻空港に無事着陸し、予定時刻には議会棟に到着しました。

視察研修は、天候には恵まれませんでしたがこのような荒天でも洋上風力発電は自勢力を保ちしっかりと稼働していることも確認出来た事は現場を見た成果であります。実証実験真っ最中であり、久慈市が目指す洋上風力発電事業に向けた取り組み、2050年国が目指すゼロカーボンニュートラルに向けての、課題解決の糸口が五島市にはありました。以下、各視察ごとに報告します。



図2 博物館入館者800万人の垂れ幕

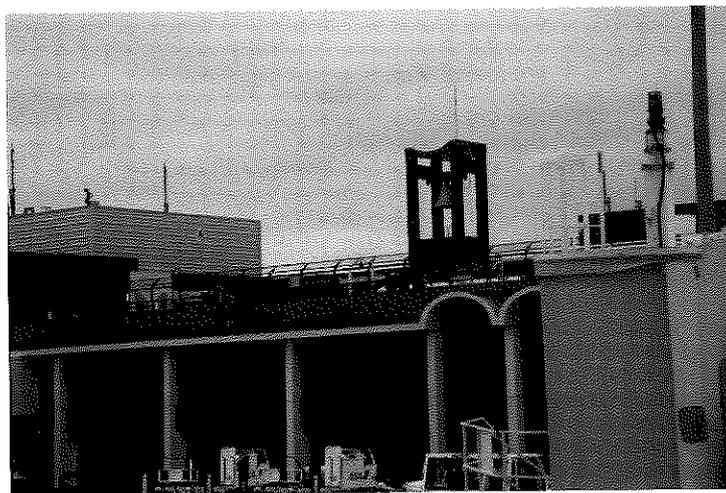


図3 長崎空港の平和の鐘

2, 実施旅程表

- 1/22 (月) 移動・視察 議会棟～いわて花巻空港～伊丹空港～長崎空港～ホテル～長崎歴史文化博物館～ホテル
- 1/23 (火) 視察 ホテル～長崎港～福江港～崎山沖～五島市役所～コンネホテル (五島)
- 1/24 (水) 移動 ホテル～福江港～長崎港～ホテルベルビュ長崎出島 (長崎)
- 1/25 (木) 移動 ホテル～長崎空港～伊丹空港～花巻空港～議会棟

月 日	旅 程
第1日目 1/22 (月)	5:30 三河交通 9:10 JAL2180 12:55 JAL2375 14:35 議会等 → 花巻空港 → 伊丹空港 → 長崎 エアポートライナー 15:30 タクシー 16:10/18:10 18:30 → ホテル → 長崎博物館 → ホテルベルビュウ (大波止) 着
第2日目 1/23 (火)	7:30 徒歩 8:00 フェリー 11:20 11:30 ホテル → 長崎港 → 福江港 → 五島観光協会 12:20 12:45 13:00 13:45 崎山沖実機調査 → 福江港 → 昼食 (誠心) → 五島市役 所 14:00 14:30 16:30 17:30 五島市講話 → (有)EWIND 講話 → パドック (岸壁) 見学 → コンネホテル着 ゼロカーボン推進班
第3日目 1/24 (水)	9:00 タクシー 10:30 フェリー 14:30 15:00 コンネホテル → 福江港 → 長崎港 → ホテルベルビュウ着
第4日目 1/25 (水)	9:00 エアポートライナー 11:00 13:45 15:30 ホテルベルビュウ (大波止) → 長崎空港 → 伊丹空港 → 花巻空港 18:30 → 議会等

3, 視察① 1月22日 (月) 16:10～18:10 長崎奉行所立山役所〔長崎歴史文化博物館〕
対応者：山口博文 長崎歴史文化博物館サブマネージャー

項 目	久慈市	長崎市	備 考
人 口	32,308人	398,060人	
高齢化率	29.6% (H27)	33.50%	
議員定数	20人	40人	
世 帯 数	15,541世帯	205,774世帯	
一般会計	250億円	4,095億円	
面 積	653.50km ²	405.69km ²	
市政施行	H18.8.61市1村合併	M22.4.1	

1. 長崎歴史文化博物館

長崎歴史文化博物館は、時代の旧奉行所立山役所を中心に「近世の華、長崎」が江戸時代から明治時代に至る、海外交流の業績と繁栄に関する資料の展示を見ることができました。

「長崎歴史文化博物館」は、長崎県と長崎市が一体となって建築・運営に取り組んでいる全国でも類を見ない施設です。この建物は明治37年に香港上海銀行として

新築され、昭和53年長崎市歴史民族資料館として使用されました。その後調査、保存、修復工事を重ね平成26年4月に現在の「長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館」長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムとしてリニューアルオープンしました。いわゆるリノベーション施設であります。視察当日の午前中は入館者800万人達成のイベントが開催されたということで垂れ幕も残っていました。

私達は8,000,001人目の入館者となりました。早速、建物の外観の石垣を横目にしながら「長崎奉行所」「イベント広場」を見学後、博物館に戻り施設見学をしました。説明員である山口氏のガイドはとても明解でわかりやすく歴史・文化への誘いと興味を十分に引き出してくれました。

1階が香港銀行長崎支店の歴史と多目的ホール、2階が孫文と梅屋庄吉と長崎華僑の歴史空間でした。3階が企画展示室で全国を巡回した多彩な展覧会を西洋と東洋が出会った貿易港長崎と日本の近代化への役割を果たした長崎と居留地の暮らしを物語る空間で、ポルトガルとスペインとの貿易、出島や唐人屋敷の暮らし、蘭学の様子です。

日本の戦国時代～江戸時代～明治維新、唐に関わる偉人、豊臣、徳川、坂本龍馬、伊藤博文、渋沢栄一等の関わりの貴重な資料が保存展示され、近世の日本史の礎を象徴する博物館でもありました。



図3 長崎空港の平和の鐘



図4 江戸時代建築された石積（穴太積み）



図5 長崎奉行所の説明を聞く久慈市議団

この博物館は長崎県の指定管理施設で、当時、国直轄の長崎奉行所関連資料 1, 242 点を重要文化財に指定しました。

長崎の歴史文化、外交は、日本の歴史文化に重なる歴史の功績が記されているなど重要な文献、資料の保存展示から世界平和と国の繁栄、異国の歴史、外交文化の大切さと近世日本の礎である日本史を後世に伝えている内容でありました。

展示物は、年代別に展示し、長崎の特徴である海外交易をオランダ、中国、朝鮮と数多くわかりやすく展示され、キリシタン関連の歴史や迫害の状況も詳細に展示されていました。

特に、日本と北朝鮮との破局は日露戦争の後処理に不満が彷彿、どうも仲裁した米国の関わり方に起因しているようでありました。明治維新以前は、食料をはじめ技術交流、人事交流など隣国としてとてもいい関係にあったと記録されています。今でも、出島等で中国人を始めとする他国籍をもった人口が多く滞在し飲食店や貿易商などで働きながら、日本人と同様にすみ続けていることから、長崎は中国やオランダ、スペインなど欧米諸国の文化と日本の文化が融合した異国情緒たっぷりの近世文化の街でありました。

日本の歴史に貢献した長崎港出島における南蛮貿易やオランダ船や唐船との交易でもたらされた貿易品や朝鮮通信使との交流の紹介等、時間が足りない思いではありましたが、キリスト教布教については、キリシタン弾圧時代の隠れキリシタンの詳細な説明や、貿易都市として栄えた長崎市の歴史文化の原点に触れた思いでもありました。

長崎奉行所立山役所ゾーンでは、長崎奉行所の役割と機能等がわかりやすく解説され、当時と同じお白洲や外国人との面会、貿易船の積荷を検分する対面所や書院等が再現されていましたし、おなじみ「遠山の金さん」の父君も長崎奉行として、長崎に赴任していたとのことでもあります。

長崎奉行ともなれば、年収は現在の約 2 億円はあったとのことであり、それだけ重責ある役職であったと思われます。

また、同奉行所復元の際の発掘調査や考証過程も映像化され、出土品等も紹介されておりました。

4. 考察として

博物館の展示物は細分化されていて、特に特産の陶磁器や螺鈿細工等は、現在は手法が途絶えたものなどが丁寧に展示されていました。

また鎖国時代の海外との窓口としての長崎の特徴や、貿易の在り方が良く分かったことに感銘を受けました。

今回の視察で、歴史・文化の伝承施設は改めて重要だと再認識した次第です。久慈市では分散した形で、琥珀、恐竜、砂鉄、遺跡、人物では柔道の神様三船久蔵氏やタマシニアレン女史、原敬などを政界に送り込んだ小田為綱等を一同に介して視察研修できる場所があるべきと痛感しました。

中世のころ、久慈城（跡）を中心に末広がりに津軽地方への展開や久慈市の生い立ち、伝承しなければならない一揆やえんぶり、神楽・剣舞・獅子舞・オシラサマや秋祭り等の文化

の伝承など、若い世代に継承していかなければならない使命が私達にはあります。新しい感覚だけでは薄っぺらい世相になります。先人たちの歴史、伝統文化の掘り起こしが戦後 70 年戦争をしてこなかった日本人の誇りです。復古創新のごとく未来に向くべきであります。

今回視察した当施設は、市民運動により残され引き継がれてきた施設であり、開館当時は賛否両論であったと山口様からお聞きしました。

結果として長崎の国指定文化財「旧香港上海銀行」をリノベーションし長寿命化を図り有効活用し未来への「かけはし」として今に生かされ 800 万人もの国内外の観光客をお迎えしています。

単純計算では到底ないと思いますが平成 8 年の開館から 28 年間で 50 億円の入館料（800 万人×630 円）歳入があったこととなります。他にも長崎れきぶん友の会（個人 5200 円、賛助 52,000 円）、企画展は別料金となっております。

今後久慈市において廃校施設や社会教育施設等、公共施設の再利用リノベーションについて検討がなされると思いますが、耐震化も済、トイレも改修済み、厨房施設完備されている公共施設をリノベーションする事は重要な視点で、市民の声を十分に反映し活用されることが望ましいと思います。

そして、久慈市の歴史と伝統・文化がこれからも永遠に受け継がれていく施設・子どもたちの学びの場として予約制で時々開館する資料館ではなく、常設すべきと強く感じました。

私達、久慈市議会政風会は、過去にも「渋沢栄一記念館」「大村市図書館」「大和市シリウス」「東京おもちゃ美術館」「立ちねぶた伝承館」「関東大震災復興記念館」などを視察先に歴史文化施設の視察を組み込んでおります。当市においても文化伝承施設を是非とも誘致したいものです。以上で長崎歴史文化博物館の視察報告といたします。



図 6 長崎奉行所の入り口

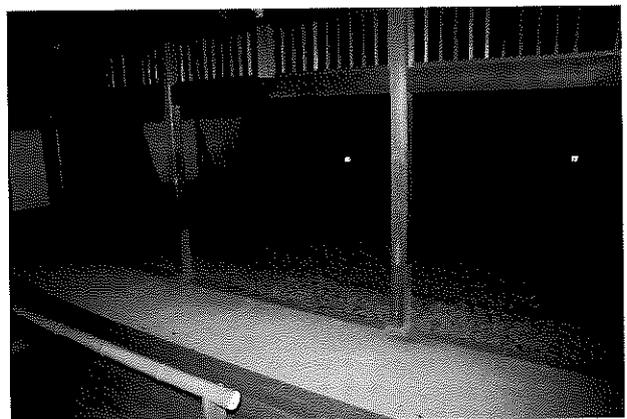


図 7 漂流民や密貿易を裁くお白州



←図 8 当時の出島の町並みを再現



図9 博物館ロビーで（中央が山口博文長崎歴史文化博物館サブマネージャー）

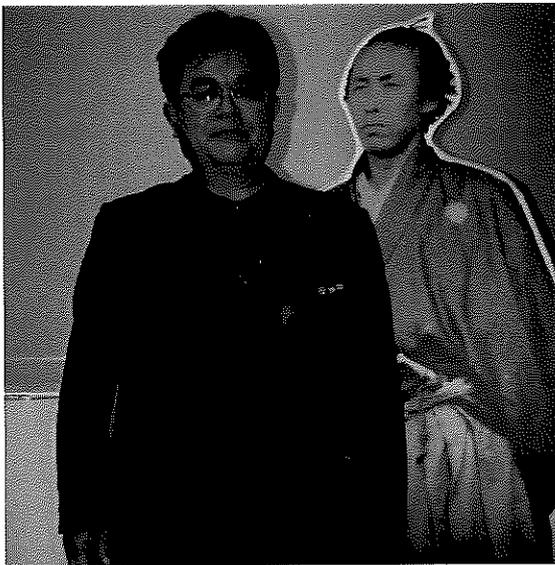


図10 坂本龍馬より小倉が若干、身長が高い
体重はかなり多い(?)



図11 山口様の説明を受ける久慈市議団

視察② 1月23日(火) 11:30~16:30

1, 長崎県五島市の概要

・久慈市と五島市の比較

項目	久慈市	五島市	備考
人口	32,308人	34,391人	
高齢化率	29.6% (H27)	40.8%	
議員数	20人	18人	
世帯数	15,541世帯	16,526世帯	
一般会計	250億円	370億円	
面積	653.50km ²	420.12km ² (横浜市と同等)	
市政施行	H18.8.61市1村合併	H16.8.1市5町合併	

- 対応者 五島市(総合企画部未来創造課) 三井寛之係長・川口祐樹主査
- 五島市 観光協会 近藤辰彦氏
- 社団法人離島エネルギー研究所 代表理事 木村誠一郎氏
- メンテナンス社(イー・ウィンド) 上田秀人専務
- TODA建設 戦略事業本部課長 平岡光昭氏
- TODA建設 東北支部 副店長 東海林淳史氏

2,はじめに

五島市は長崎市から西へ100km離れた10の有人島と53の無人島で構成された「椿」の花が咲くととても美しい島でありました。2022年後期NHK連続テレビ小説「舞いあがれ!」や2023年7月からフジテレビ系で放映されているドラマ「ばらかもん」のロケ地でもあり、久慈市の「あまちゃん」のロケ地と同様に海と将来の夢を追いかける青春ドラマの舞台となっており、久慈市との共通性というか近親感を覚えました。

長崎県や五島市は浮体式洋上風力発電設置の洋上の先行利用者が全国の中でも大変多い県であります。漁業就業者数は全国第1位、海岸線の延長が北海道に次ぐ4,177kmは全国第2位、海面漁業、養殖漁業年出荷額が約1,000億円は北海道に次いで全国第2位であります。海岸線が入り組んだ地形で入江や静穏海域が多くあり、三陸海岸の沖合で波をかき分けて天然魚を漁獲することを主流とする三陸の漁業の



図12 近藤様の事前説明を受ける久慈市議団



図13 実機視察に利用した海上タクシー

形態、自然環境の違いは否めないところです。

人口減少も下降線を辿っており 1955 年には 91,973 人いた人口も令和 2 年には当時の 63%の減少率となっており 34,391 人となりました。しかし、人口減少対策が功を奏してか令和 5 年 7 月には 34,650 人と 259 人の増となっています。人口減の主な要因はやはり島に大学が無いことが一番の要因のようですが、人口の微増の要因の一つに、平成 29 年 4 月に施行された有人国境離島法による交付金制度の有効活用により、人口減の抑制や新規雇用者数の増加、観光客等交流人口が増加したとのことでした。

五島市は 2010 年 環境省実証事業開始→ 2012 年 100kW 小規模試験機設置→ 2013 年 2000kW 実証機設置(～2015 年)→2014 年 五島市再生可能エネルギー推進協議会設立 五島市再生可能エネルギー基本構想策定 実証フィールド国指定→2015 年 環境省風力発電等に係る地域主導型の戦略的適地抽出手法の構築モデル事業委託業務 ・ウインドファーム海域選定 ・漁業関係者との合意形成 五島市再生可能エネルギー産業育成研究会設立→2016 年 崎山沖 2MW 浮体式洋上風力発電所稼働開始→2017 年 ウインドファームに関する海域利用同意書取得(県条例関係) ・管内 3 漁協 ・五島漁協組合長会 ・県旋網漁協→2018 年 世界首長誓約/日本 著名・登録 ウインドファームに関する環境アセスメント評価書確定(アセスの手続き完了)→2019 年 4 月 再エネ海域利用法施行→7 月 崎山沖が促進区域の有望な海域に指定。(全国で 4 海域)→ 12 月 促進区域指定(再エネ海域利用法。日本初)、2020 年 6 月～12 月 公募(再エネ海域利用法による事業者選定)、2021 年 1 月～6 月 国審査・評価、2021 年 6 月 発電事業者決定、2022 年 9 月 設置工事着手→2026 年 洋上風力発電ウインドファーム事業運転開始【予定】となっております。それでは、本視察のメインであります五島市の洋上風力について以下に詳細に報告いたします。

3. 浮体式洋上風力発電施設の実機視察

五島観光協会の近藤様のご案内で、海上タクシーをチャーターし福江港から 10km 離れた椀島沖の実機視察に出向しました。

当時の風速は 10m を越え、波も 4～5.0m と高波にも関わらず海上タクシーの船長さんは船を出してくれました。ドタンバタンと船底が海を叩く音、窓ガラスはくもり、外観は何も見えない、窓を開ければ外は吹雪の状況でした。我々一行は皆不安の色を隠しきれない状況でした。視界が悪かったせいもありますが、船長さんは別な方向に船が進んでいることに気づき舵を切り直し 15 分で到着予定が 30 分ほどかかりようやく実機「はえんかぜ」に到着しました。

強風に煽られた実機は約 15 度程度に南側に傾いていましたが絶対倒れることは無いそうです。この傾きを見るにつけ、浮体式洋上風力ということが一目瞭然であります。船長さんは

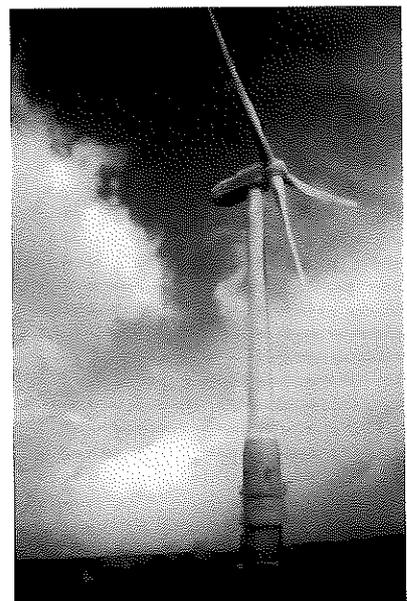


図 14 実機「はえんかぜ」

かなり近い距離まで船を近づけてくれました。ものすごい迫力を感じました。

風車1基の重さは、約3,400トン下部浮体部の中にバランスを保つコンクリートや砂利を約1,400トン投入し、「起き上がり小法師」のように、どんなに傾いても起き上がり、もとの状態に戻る。また、台風など強風時には一定の風力を超えると発電タワーが自動停止する設計になっているとのこと。

現地の水深は約100m、発電タワーは、浸水76mで浮体していて、3方向から海中鎖で抑える構造で年中365日24時間発電稼働できるようです。発電量は、1基2,100kwで1,800世帯分の送電規模となるようです。

ハイブリッドタワーなど海上搬送や組立てには、半浸水型スパッド台船で現地へ移動し組立てるとのことです。これから8基設置予定ということでしたが、この事業の代表企業である戸田建設様は1月31日に現在設置積みの風車1基を陸上げして品質保証のための検査をしたところ長期に渡る安全性の

確保が困難であると判断し浮体構造部をさらに95億円を投じ不具合を解消するというところであります。

運転開始を2年延期した2026年1月の運転開始には影響はないと発表しています。講義にて質問をしましたが、構造照査をしていなかった部分に欠陥が見つかったということです。



図15 海上タクシー内の様子



図16 海上タクシーの船長さん

4, 五島市ゼロカーボン推進班の取り組みとこれまでの経緯

2030年目標達成に向けた五島市のとりくみ

- ・重点プロジェクト1: 洋上風力発電等の再生可能エネルギー電力の拡大プロジェクト
- ・重点プロジェクト2: 太陽光発電による電力の自家消費・レジリエンス強化プロジェクト
- ・重点プロジェクト3: 高性能省エネ機器&EMS等省エネ・オール電化推進プロジェクト
- ・重点プロジェクト4: EV(電気自動車)の普及プロジェクト

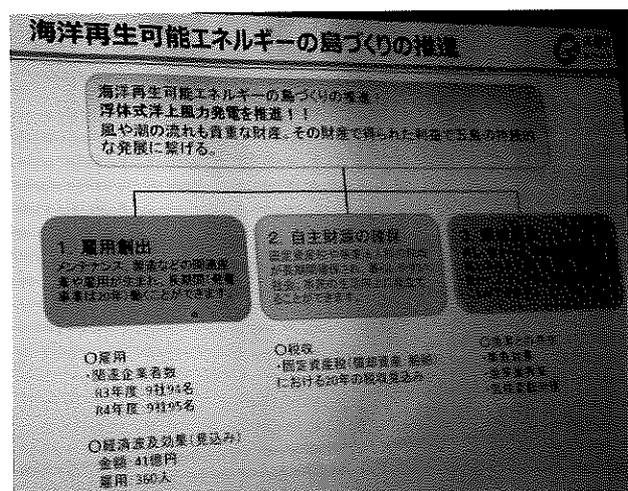


図17 再生可能エネルギーの取り組み

- ・重点プロジェクト5：建物の脱炭素化プロジェクト ZEH/ZEB
 - ・重点プロジェクト6：廃棄物の減量化や節電等市民の理解増進プロジェクト
- 五島市の再生可能エネルギー電力自給率（令和2年度推計値）

再エネ発電量／五島市内消費電力≒56.3%

5, 地元企業による設備メンテナンス事業の取り組みと経済効果

異常気象による地球温暖化、温室効果ガス排出削減、低炭素型、低コスト化に寄与する、浮体式洋上風力発電施設とセットの半潜水型台船等、図りしれない基地港湾の関連装備と技術者等の集結は、産業観光と共に人口増大や雇用の広がりが地方の「まちづくり」産業経済の活性化策に期待されています。同時に「安心・安全」を提供する風力発電設備のメンテナンス会社が地元で育成、革新企業として設立され、現在50名前後の従業員規模に拡大しています。

更に、北海道事務所、和歌山事務所、鹿児島事務所があり、本市の山形町への風力発電導入計画事業に、北海道事業所からメンテナンスの方向とのことです。

視察者数は、平成24年378名～令和4年1285名、11年間の合計9,198名であり、海上視察代金は18,000円/1人なので海上タクシー産業だけで1億6千600万円の収益があったことになります。



図18 EWIND社の取り組み

因みに、海上タクシーの船長さんは関東近辺での出稼ぎを経て定年になってからUターンし船長をやっているとのこと。Uターン・Iターンの制度も充実しておりましたがここではあえて触れません。

6, 漁業関係者との調整・合意形成について

1 風車設置候補海域の検討～事業者

- ・自然条件（風況、水深、海底など）
- ・社会的条件（航路、自然公園、漁業実態など）
- ・規模（大きさ、基数、配置レイアウトなど）

2 漁業実態調査～市

- ・操業する時期、魚種、漁法などを聴取

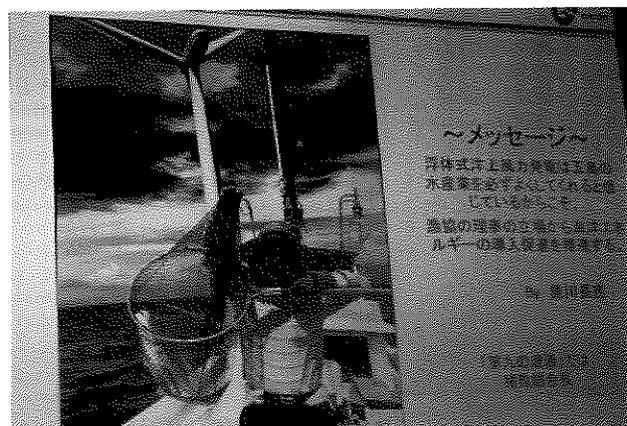


図19 交渉には漁業者の理解が不可欠

- ・ 漁業協調メニューの聴取
- ・ 出来る限り、漁業者に影響の少ない海域を選定
- ・ 風車事業に対する意見聴取
- ・ 集魚効果

3 漁業関係者への説明～

市（水産課とともに）、事業者

- ・ 管内3漁協の組合長、参事との漁業振興策（条件面）の検討、協議

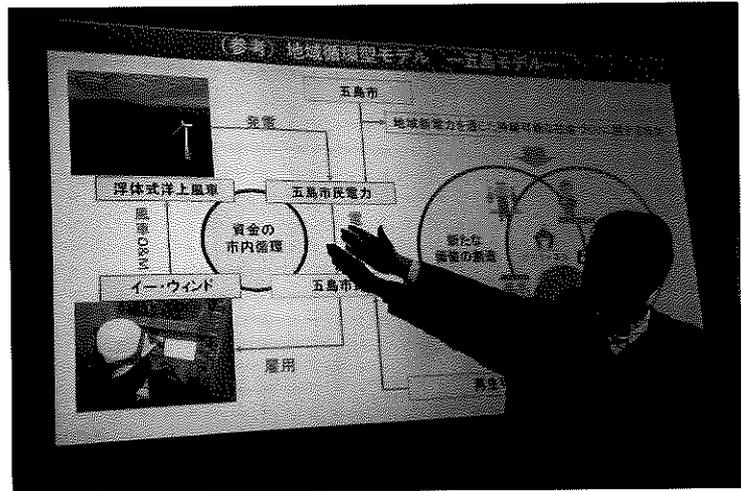


図 20 EWIND社 田上秀人専務の講話

- ・ 理事会
- ・ 各地区漁民

4 説明会～市、事業者

- ・ 管内には3漁協あり
- ・ 各漁協の対応は、組合長等と相談しながら決定。
- ・ 必要があれば、各地区説明会を開催。
- ・ 各地区説明会には組合長と各地区の代表者である理事も同席。
- ・ 理事会へ各地区の状況をフィードバック。
- ・ 理事会にて海域利用の同意を決定
(既に海域占用許可申請に必要な同意書は取得済。)

以上のような流れですが順序を間違えないこと、交渉には水産課の職員も必ず同席させること、条件面については参事と入念に協議すること等です。同じ進めるにも漁業関係者との調整や合意形成が最重要課題となります。他の地区での失敗事例も紹介されましたが順調に進んでいるやに思っていたが最後の最後に漁協の反対を受け「ボタンの掛け違いだ」など言われ、事業実施されなかったようであります。その影響もあり五島市が名乗りを挙げ現在の促進区域に指定され、浮体式洋上風力発電事業者に選定をされたということでもあります。運もツキもあったようです。

7、将来に向けた展望

1. 浮体式洋上風力発電事：促進区域におけるウインドファーム整備への支援、ウインドファーム整備後の漁獲等漁業者への影響の検証・分析・維持管理の実態と修復工事は行われているか。
2. 潮流発電事業：実証事業の継続支援、実用化、商用化に向けた支援
3. ゼロカーボンシティの実現：五島市ゼロカーボンシティ計画における各重点推進プロジェクトの推進、上記実現に向けた国補助事業の獲得

4. 広報啓発 活動：あらゆる媒体を活用して、市民や企業等に対する地球温暖化防止対策への取組の協力依頼環境学習会、シンポジウム等の開催

8. 久慈市に向けた成功へのアドバイス

これだけは避けるべき、間違えないようにということ繰り返してとなりますが、交渉には水産課のメンバーも同席させ、一方的な押し付けにならないよう十分に耳を傾け協議をすること。また、協議の順番を間違えないこと。将来的な不安を払拭するため何度でも要請があれば協議に応じることと上層部だけではなく業関係者各漁協に足を踏み入れ丁寧に説明するなどのアドバイスを頂きました。

有人国境離島法 雇用機会拡充事業

2017年4月に施行された有人国境離島法による雇用機会拡充事業による雇用の増加に直接寄与する創業又は事業拡大を行う事業者を支援

●事業者へ

区分	年別					計	2017-2022 増加数
	2017	2018	2019-2020	2021	2022		
事業創設	41	49	34	36	37	237	47
内 島内	25	40	26	23	27	199	22
内 島外	6	9	8	10	5	38	25
雇用創出数	144	133	91	94	51	73	285
内 島内	102	87	71	73	30	45	403
内 島外	42	46	20	21	21	28	182

※2018年報(H30)の35.9月、2019.2021.地方創生事業交付金を参照

●産業分類別 (2017年度～2022年度)

区分	創業者 の割合	観光 創業者	農林業	水産業	加工業
事業創設	103	59	36	17	17
内 島内	61	45	25	11	11
内 島外	22	14	11	6	6
雇用創出数	274	135	107	25	25
内 島内	196	95	79	15	15
内 島外	78	40	28	10	10

※雇用創出数は事業年度末時点の雇用創出数を指す

図 21 2017 年から施行された有人国境離島法

9. 考察として

アジア初の海洋エネルギー（浮体式洋上風力発電事業）に取り組む背景には五島市の人口減少問題の危機感 にあって地方行政の立て直しにとりかかった。人口ピーク時、昭和 30 年代 91,978 人から現在 34,391 人になり、日本の再生可能エネルギー政策に関する未来を見据えた地方の経済、産業、雇用のかかわり等に関する事業推進の目的を、雇用の創出・自主財源の確保・環境保全の 3 項目を重点目標に掲げ、国県等との連携による戦略を検討したことから始まったようであります。

浮体式洋上風力発電事業への取組み経緯は、平成 22 年環境省の実証事業に注目し、京都大学、戸田建設による共同研究について誘致活動を推進しております。同事業は、平成 22 年～27 年度、受託グループは長崎県五島市周辺海域にて世界初のジャイブリードスパー型（浮体部の下部をコンクリート、上部を鋼で構成した浮体形式）2, 100KW 級の発電施設の設置に成功しました。

その後、運転、試験保守を含めた浮体式洋上風力発電施設の本格的な運用について知見を深めました。同時に、周辺海域や海洋生物、生活環境への影響調査を継続し、漁業協調型の実証が行われ、浮体式洋上風力発電施設は、安全で環境への影響が小さい発電施設であることが確立されました。環境省の実証事業終了後は、五島市と五島フローティングウィンドーパワー合同会社が共同で、発電所の運転を継続しており、洋上風力発電施設の現地調査視察で、五島市から 10 キロ沖合に海上タクシーで実証運転施設を視察できたことは、海運業・漁業関係、各関係者との共存共栄の可能性、実務的に産業改革イノベーションとの融合が今後に期待される視察となりました。

この度、五島市海洋エネルギーの仕組みを知る交流型産業視察、研修の機会を得たことは今後、本市への浮体式洋上風力発電事業の、推進、政策のあり方など、今後の方策、展望に、有意義な行政視察研修となりました。メンテナンス後 2026 年 2 月の実証機の再スタートの

成功を祈念したいと思います。

浮体式洋上風力発電事業推進については取り巻く環境や条件が違って、現状がそのまま参考になるところ、応用して今後の本市の事業導入に生かしたいところなどに分類されますが、漁業と洋上風力の共存共栄は長崎県の取り組みを取り入れて、三陸方式に組み替えれば十二分に可能であると感じました。

また、今後にあっては、オール久慈、行官民による総力の英知を結集し、全政界・全財界を視野に漁業関係者を入れた先進地、現地業績に学ぶとともに国・県と連携策等を検討をなされるなど国家プロジェクトにも値する中長期的な政策を岩手県をはじめ県北沿岸・久慈地方の未来づくりの展望を実現すべく一翼を担う議会活動になるよう意を強くしました。

以上で、顛末といたしますが、非常に気象条件が悪い大寒の時期で、長崎ではジェットフェリーが欠航となり五島からの帰路はフェリーも欠航、福岡行の空路も閉ざされ、命がけの視察となりました。おまけに、伊丹から花巻便も「花巻上空が悪天候の場合伊丹空港にUターンすることも視野にチケットを購入してください」なんて条件を突きつけられる有様です。散々な視察とはなりましたが、研修自体大変中身の濃い、久慈市の将来展望に参考となる有意義な視察となりました。



図 22 座学に耳を傾ける久慈市議断のメンバー

凡



図 23 五島市川口主査に質問をする小柳代表



図 24 五島市役所正面玄関で記念撮影



図 25 五島市福江港ターミナル前にて記念撮影



図 27 井持浦教会と日本初のルルド看板前で



図 28 出船を待つ久慈市議団



図 29 ついにフェリーは出港しました

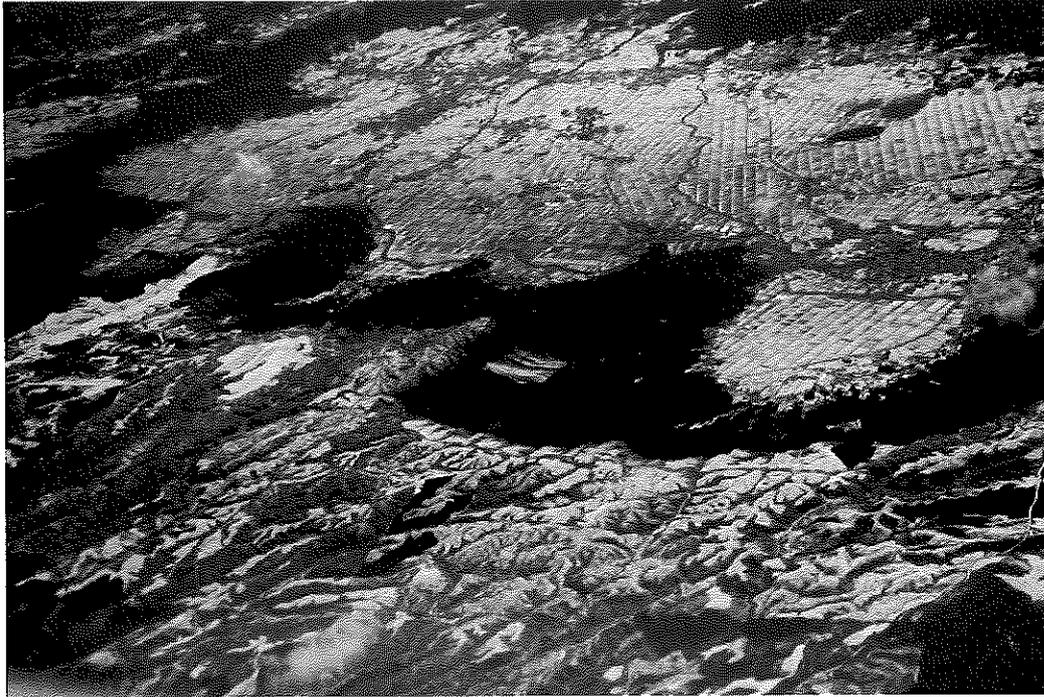


図 30 上空から見る長崎・山陰地方は雪で真っ白。新幹線も運転見合わせ状態



図 31 分厚い雲の上は、快晴です（花巻上空）

政風会 長崎県五島市洋上風力発電施設視察

	月日	金額	内訳
1	1月22日	7,200	長崎空港～長崎市内バス1,200円×6人分
2	1月23日	52,040	五島市宿泊代8,674円×6人分
3	1月24日	30,720	五島市福江港～長崎港5,120円×6人分
4	1月25日	7,200	長崎市～長崎空港1,200円×6人分
5	1月31日	85,530	五島市観光協会114,040円×6/8=85,530円 ※領収書は8人分（政風6人+共産2人）であるため ※研修参加費（ツアー）。内容は、五島市役所未来創造課及びE-WIND（風車メンテナンス会社）からの講和、現地視察（海上タクシー）
6	2月19日	534,474	三河観光（航空券、長崎市ホテル代、フェリー代、久慈～花巻空港往復バス代）
	計	717,164	

2024

1/25 (F)

長崎市松山町 → 長崎市電

1200 x 6

4

領収証

政風会

様

No. _____

★

¥7200-

但 運賃代として

2024年 1月25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	10%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収入
印紙

コクヨ ウケ-1097

長崎市新地町3番17号
長崎自動車株式会社
登録番号 T2310001001369



~~長崎市電~~ 土産代

長崎市松山町 → 長崎市電

領収書

令和6年1月25日

政風会 様

¥7,200円

但 ^{1200 x 6} バス料金として
上記領収いたしました

大村市松山町489-13

長崎県交通局

大村営業所長



(注) 印紙の貼付けは印紙法第5条により免除

12384

五島市 23

6人

領収書

No.000120601 精-01 24/01/23 16:51
[チェックイン]

部屋番号 310

ご利用期間 2024/01/23~2024/01/24
ご利用日 2024/01/23

政風会 様

ご請求額 52,040円

ご入金額 52,040円
おつり 0円

上記金額を現金にて領収致しました

◆ご利用明細◆

室料 (1泊分) 52,040円
合計 52,040円

ごゆっくりお過ごしください

CONNE HOTEL

〒853-0002 長崎県五島市中央町6-19
TEL.0959-75-0800
TEL.0959-75-0810

五島移住造 → 長崎港 6人

政風会 殿

印

紙

領収証

領収額	¥30720 -	(消費税率 10%) 消費税額 円)
内訳	旅客運賃 として 車両運賃	
区間	福江 長崎 港 から 福江 奈良尾 港 まで 奈良尾 奈留島	

上記のとおり領収いたしました。

令和 6年 1月 24日

録番号 T3310001000411

九州商船株式会社



311

ご依頼日 令和 年 月 日
060 | 131

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)
 預金払戻請求書 による振込受付書 (兼振込手数料受取書)
 預金口座振替

先方銀行 十八親和 支店
振込金額 1063997 円

お受取人 伊川ハロニエヤクソンホウシンドゴトウエヒヤクゴラキ
漢字 一般社団法人五島市観光協会様

ご依頼人 也イケウカイニツホシキヨウサエトトラクエシキ
漢字 政国会・日本旅館協会様
おとこ 岩手県盛岡市川崎町1-1

○受付いたしました振込については、裏面「振込規定」によりお取扱いいたします。

お振込手数料 (消費税込み) 1,100

当行をご利用いただきましてありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



株式会社 岩手銀行
登録番号 T7400001000423
(振込手数料は消費税率10%込み)

61351 (03.08)

○区分(※)は軽減税率対象 (非)は非課税対象

合計(税込)	114,040
10%対象計(税込)	113,240
10%対象計	10,294
8%対象計(※)	0
0%対象計(非)	800

【お振込先】
十八親和銀行 福江支店
普通預金 口座番号 1063997
口座名義 一般社団法人五島市観光協会
お支払期限: 2024年2月29日

※振込手数料は恐れ入りますが貴所にてご負担ください

いわぎん キャッシュサービスご利用明細票

いつも(いわぎん)をご利用いただき
ありがとうございます。

岩手銀行

お取引内容		店機番	お取引日
お振込		045-79	06-02-19
銀行番号	取引店	口座番号	
0123	0045	12112***	
取扱番号	お取扱金種		硬貨合計
9252			
お取引時刻	お取引金額		手数料
10:12	¥534,474		¥330
お取引後残高		約 銭	
¥12,874			

振込受付書

岩手銀行
久慈支店
普通 NO. 1050047
受取人 カ)ミカワコウツウカンコウ

依頼人 セイフウカイ 様

連絡先 090-2022-2691 様
受付番号000000000000015

▼裏面の説明をご覧ください。

請 求 書

24年 1月31日

株式会社 三河交通観光

代表取締役 三河博之

岩手県久慈市中央二丁目1番地

電話 (0194)53-6161

FAX (0194)53-6163

登録番号:T8400001008028

【消費税10%込】

〒 028-8030

岩手県久慈市川崎町1-1

久慈市市議会議員「政風会」

御中

前回御請求額	御入金額	繰越額	今回御利用額	今回御請求額
0	0	0	534,474	534,474

お振込口座

岩手銀行 久慈支店 普 1050047

みちのく銀行 久慈支店 普 6201121

北日本銀行 久慈支店 普 2709972

盛岡信用金庫 久慈支店 普 0157301

毎度ありがとうございます。上記の通り御請求申し上げます。

月 日	チケット番号	乗務員	御利用区間 / 摘要	金額	備 考
1月29日		19	JAL2180 花巻～伊丹	74,640	1/22 12440×6
		19	JAL2375 伊丹～長崎	49,560	1/22 8260×6
		19	JAL2374 長崎～伊丹	49,560	1/25 8260×6
		19	JAL2185 伊丹～花巻	74,640	1/25 12440×6
		19	ホテル代 2泊	116,400	1/22・1/23
		19	ホテル代 1泊	58,200	1/24
		19	フェリー代	54,180	1/23 9030×6
		19	久慈 花巻空港	45,000	往復
		19	高速料 九戸～花巻空港	3,294	東和～花巻空港3回

請 求 書

24年 1月31日

株式会社 三河交通観光

代表取締役 三河博之

岩手県久慈市中央二丁目1番地

電話 (0194)53-6161

FAX (0194)53-6163

登録番号:T8400001008028

【消費税10%込】

〒 028-8030

岩手県久慈市川崎町1-1

久慈市市議会議員「政風会」

御中

前回御請求額	御入金額	繰越額	今回御利用額	今回御請求額
0	0	0	534,474	534,474

お振込口座

岩手銀行 久慈支店 普 1050047

みちのく銀行 久慈支店 普 6201121

北日本銀行 久慈支店 普 2709972

盛岡信用金庫 久慈支店 普 0157301

毎度ありがとうございます。上記の通り御請求申し上げます。

月 日	チケット番号	乗務員	御利用区間 / 摘要	金額	備 考
1月29日		19	取扱手数料 旅行傷害保険含	9,000	死亡2000万円他